

2020年3月31日

財務大臣 麻生太郎 殿

平素より市民社会の活動に対し、深いご理解を賜り、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）に対する各国内の対応が進められている一方で、現在、世界で最も貧しい国々に暮らす子どもたちとその家族が直面する深刻な保健および社会・経済の危機への対応が喫緊の課題となっています。

子どものための国際 NGO セーブ・ザ・チルドレンは、（1）感染症の封じ込めと鎮静化、（2）国際的な資金拠出、（3）各家庭への生活補助、（4）教育・学びの維持、（5）子どもたちの安全と保護、の5つの分野における国際協力の必要性を訴えています。すぐに対応可能な策として、世界銀行および IMF が G20 各国に対して要望している、国際開発協会（IDA）借入国に対する二国間債権の利子支払いの一時停止の提案を支持いただきますことを、強くお願い申し上げます。

過去2週間で、サハラ以南アフリカにおける感染確認件数や市中感染数の急激な増加が見られています。ロンドン大学衛生熱帯医学大学院の最近の予測によると、6月中旬までに、サハラ以南アフリカのすべての国において、それぞれ少なくとも1万人の感染が確認されうるとされています。世界で最も裕福な国々でも、COVID-19により保健医療制度が過剰な負担を強いられることを経験から学んでいます。最も貧しい国々のさらに脆弱な保健医療制度は、すでに対応不可能になっている可能性があります。景気後退の影響が保健医療へのさらなる打撃につながると見られています。

こうした状況下では、IDA 借入国政府が国内支出を優先することが何よりも重要になります。公衆衛生の最前線に投資し、効果的な予防策および封じ込め戦略に資金を投入することが喫緊で必要とされています。一方でこれらの政府は、母子保健、教育、栄養といった重要な分野への投資を維持しつつ、脆弱な立場にある人々を保護するためのセーフティネットの施策を実施しなければなりません。セーブ・ザ・チルドレンは、何百万人もの子どもたちが差し迫った脅威に直面していることを懸念しています—社会全体の将来が危機的状況にあるのです。

債務に関する行動は大変重要です。世界銀行および IMF が示した条件による債務返済の一時停止は、今必要とされる財政上のニーズに対応し、国内で優先される需要に資金を充当する助けとなると考えます。G20 各国による返済一時停止により生み出される金額は2020年で約130億ドルであり、それほど大きな金額ではありませんが、すぐにも資金を必要とする IDA 借入国に対する支援を示す動きとなります。セーブ・ザ・チルドレンは、世界銀行および IMF による債務返済の一時停止の呼びかけ、そして支援に向けた資金動員の努力を強く支持します。今年の IMF・世界銀行春季会合に先立ち、世界銀行による IDA および国際復興開発銀行（IBRD）対象国向けの1,600億ドルの資金パッケージが合意されることを望みます。債権者に対する返済のためにこうした支援の大部分が充当されないためにも、世界銀行と IMF の G20 に対する上記提案への日本政府の支持を強く望みます。

2014年にエボラ危機に見舞われた国々に対する債務支払いの一時停止があり、現在同様のニーズがあることは明らかです。世界銀行と IMF は、民間の債権者や債権保有者による行動を求めています。セーブ・ザ・チルドレンは、各国政府が民間債権者に対しても、G20 各国の先例に追随し、相応の対応を採るよう求めることを希望しています。

最終的には、世界中で手を携え私たちが COVID-19 に打ち勝つか、あるいは敗北するかのどちらかです。債務の利子支払いの一時停止により、最も貧しい国々におけるパンデミックの最前線での闘いを強化することが、ウイルスへの勝利の一助となると確信しています。

以上、ご賢察の程よろしくお願い申し上げます。

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 専務理事・事務局長
三好 集

【本提言に関するお問い合わせ】
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシー室
東京都千代田区内神田 2-8-4 山田ビル 4F Email: japan.advocacy@savethechildren.org